

知っていますか？

3 子供がスマホを欲しが理由

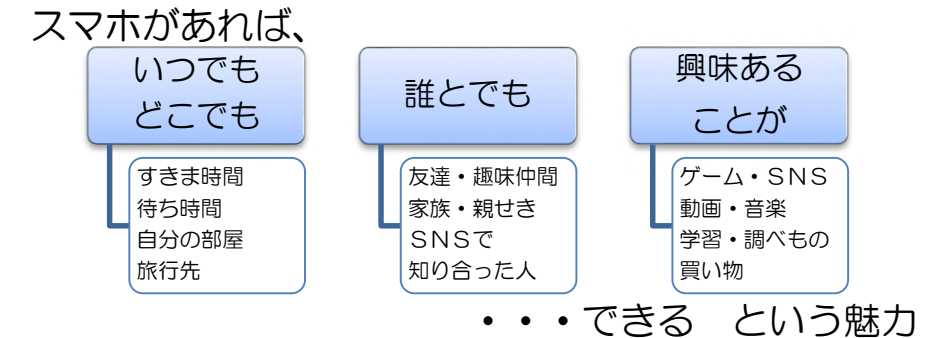


ゲームや音楽なら他のメディアでもいいのに、なぜ子供はそんなにスマホが欲しいのかしら？
防犯機能はないし、メディアトラブルに巻き込まれるリスクもある。
友達が持っていると言うけど、持たせるかどうか迷ってしまう。

スマホは「目的に合わせて機能を選ぶ」ことができるメディアです。そのため、子供は魅力あるゲームやSNSなどのコンテンツに大きな興味をもち、スマホを使いたくなるのです。

もちろん、上手に使うことができれば、生活をより豊かにできますが、自分の気持ちや周りの意見に流された使い方をして、知らぬ間にトラブルに巻き込まれることがあるのです。





4 保護者の大きな決断

子供にスマホを与えるには、下にある「4つの能力」を子供が身につけているかどうかを考えなくてはなりません。与える際には、スマホを生活の中でどのように使うかを家族で一緒に考えてみましょう。

スマホは「生活をより良くするために使う」ことが大切です。日常生活の中で子供自身がスマホを使う理由を考え、自分に合った使い方ができるようにしていきましょう。

子供たちがネット社会に出て行くための準備・4つの能力



判断力

物事を整理して色々な角度から考える力。
冷静に考える力。



自制心

感情的になろうとする気持ちを抑える力。
客観的に自分を見る力。



責任感

周りの人のために自ら行動しようとする姿。
リスクを考える力。



コミュニケーション能力

互いの考えや立場を尊重し誰とでも関わろうとする力。

話し合いワークシート

インターネットの特徴について

インターネットには「好きな時間に好きな相手と必要なことをやりとりできる」という特徴があります。その特徴について家族で話し合ってみましょう。

	保護者	子供
① いつでも使えるということは、時間を有効に使えることになると思う。 こんなことも話してみよう 気になって、他のことが手につかなくなると思う。	☐	☐
② 誰とでもつながれるので、新しい出会いや発見が増えて、自分が成長できると思う。 こんなことも話してみよう 相手の本当の気持ちや考えは分からないと思う。	☐	☐
③ 自分の知りたい情報にふれることで、知識が増え、いろいろなことに興味をもつと思う。 こんなことも話してみよう 情報に振り回されたり、迷ったりすると思う。	☐	☐
④ 知らない相手とやりとりすることで、自分の意見に自信を持ち、積極的になると思う。 こんなことも話してみよう 相手のことを考えずに、自分の気持ちを一方的に伝えることが増えると思う。	☐	☐

今回の話し合いで、新しい発見や気づきがありましたか。

このリーフレットを使って、家族でネット利用の必要性や使い方の振り返りをしてみましょう。また、より良い使い方をするための、アイデアを出し合ってみましょう。

相談窓口のご案内

いじめに関する相談

【前橋市いじめ相談ダイヤル】

☎ 027-257-0808

【県総合教育センター子ども教育相談室】

☎ 0270-26-9200

【24時間子供SOSダイヤル】

☎ 0120-0-78310

青少年の非行・不登校に関する相談

【前橋市教育委員会青少年支援センター】

☎ 027-898-5876

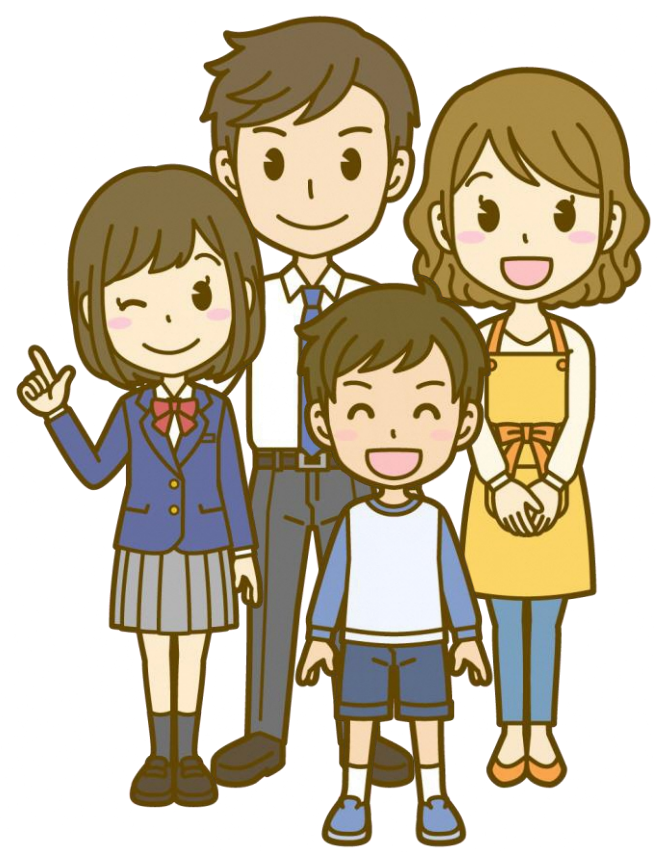
インターネット上の違法・有害情報に関する相談

【インターネットホットラインセンター】

🌐 <http://www.internethotline.jp/>

保護者向けリーフレット

変化する高度情報社会を主体的に生きるための力を育てよう



子供と共に考える

まえばし
ネットスクラム

の取組

令和2年1月 前橋市教育委員会

※このリーフレットでは、スマートフォンを『スマホ』と称します。また、スマホやタブレット、ゲーム機などのインターネットにつながる端末を『メディア』と称します。

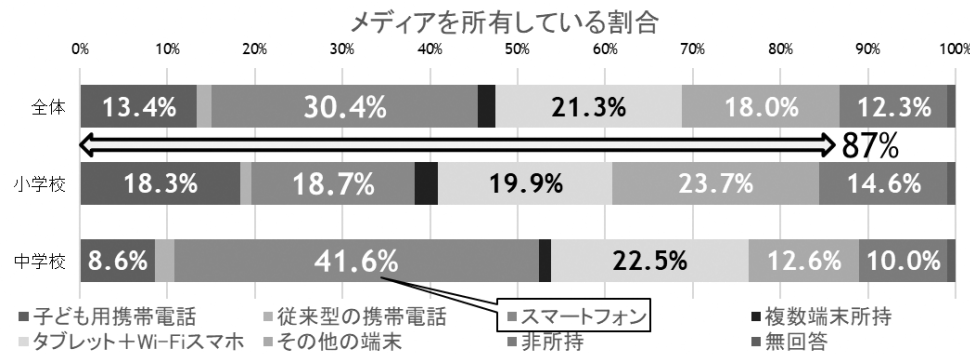
メディアの良さや注意点を

子供と共に考え、学び、社会性を育む環境をつくりましょう

学び合いは、直接的な体験や人との関わりそのもの。子供は経験を通して、社会性を磨き、主体的に「生きる力」を習得します。

1 本当に今、持たせていいの？

前橋市の調査では、約87%の子供が何らかのメディアを所有しており、日常からインターネットを利用している様子がみられました。これは中学生だけでなく、小学生も同様で、インターネット利用の低年齢化が進んでいます。また、使うメディアとしては、スマホの割合が増える傾向が見られます。



メディアには、それぞれの特徴や良さとともに、危険性もあるので、それを理解して使うことが大切です。

すでに使わせている家庭も、まだ使わせていない家庭も、このリーフレットで「より良い使い方」や「持たせるべきかどうか」について考えてみましょう。

2 危険・トラブルは すぐそばで

子供の周りでは多くのメディアトラブルが発生しています。内容も様々で、子供だけでは対応できないものもあります。トラブル解決に家族や学校だけでなく、警察や弁護士など、関係機関の力も必要ことがあります。トラブルから子供を守るために、本当にメディアが必要かを考えることは保護者として大切な役割なのです。

夜でも勉強中でも連絡がくるので、スマホが気になって集中できない

家のタブレットでゲームアイテムを勝手に買ったら、高額の請求がきた

SNSグループで、友達から次々に悪口を書かれ、怖くて学校に行けなくなった

友達とゲームをすると途中でぬけられない。ぬけると仲間はずれになってしまう

小学生がネットで知り合った成人の自宅に連れ込まれて、監禁された

友人関係

重大事案

リスクと向き合い、共に考える機会

メディアを使う場合、依存症や中毒性、対人関係トラブル、直接的な体験機会の不足などのネットリスクが発生します。フィルタリングなど、子供をリスクから守る支援に加えて、**大人と子供が体験や考えを共有する機会**を設定するなど、社会性を磨き、生きる力を育むための環境づくりが重要になります。

環境づくりでは、子供と同じ目線でネット問題を一緒に考え、子供の意見を生かす姿勢がとても大切になります。

実生活で必要な社会性が育つ

子供が「挑戦」できる機会

新しいことに挑戦し、体験することで、人は成長します。しかし、失敗を怖れて身近なメディアで情報や人とつながり、挑戦することなく満足してしまう子供もいます。結果として、失敗や成功を通して得られるはずの社会性や、主体的に生きる力が育ちにくなっています。

子供に必要なのは、失敗をしっかりと受け止める環境です。**子供が失敗を怖れず、挑戦できる機会**とはどういうものなのか、考えてみましょう。

困難を乗り越え、成功体験で自信をつける

失敗を受け止める環境がある

自分で考え、より良くしようとする

子供が新しい物事に挑戦する

スマホがないと不安だし、イライラして気持ちがおちつかない。

↓

本当に楽しいことって何だろう？

依存症
中毒性

知らないうちに人を傷つけ、関係が悪くなっちゃうかも。

↓

どうしたら良い関係を作れるようになるの？

対人関係
トラブル

ネットを使えば、わざわざ苦労しなくてもいいんじゃない。

↓

本当にやらなくてもわかるのかな？

直接的な
体験機会の不足

ネット時代の子供を育てる3つの要素

- 体験の機会をつくる
- 社会性を磨く
- 適切なメディア利用を実現する

家庭の取組例1

地域行事への参加や長期休みの自由研究、習い事などへの子供の興味を大切にしましょう。そして、結果よりも取り組もうとした姿勢や経験したことを賞賛しましょう。

家庭の取組例2

家族それぞれのメディアの使い方「見習いたいところ」や「心配しているところ」を出し合って、自分の使い方を振り返りましょう。
(裏面のワークシートをご活用ください)

家庭の取組例3

メディアを使わずに家族が同じ時間を過ごせる機会を作りましょう。スポーツや読書など一緒にできる時間をできるだけつくりましょう。